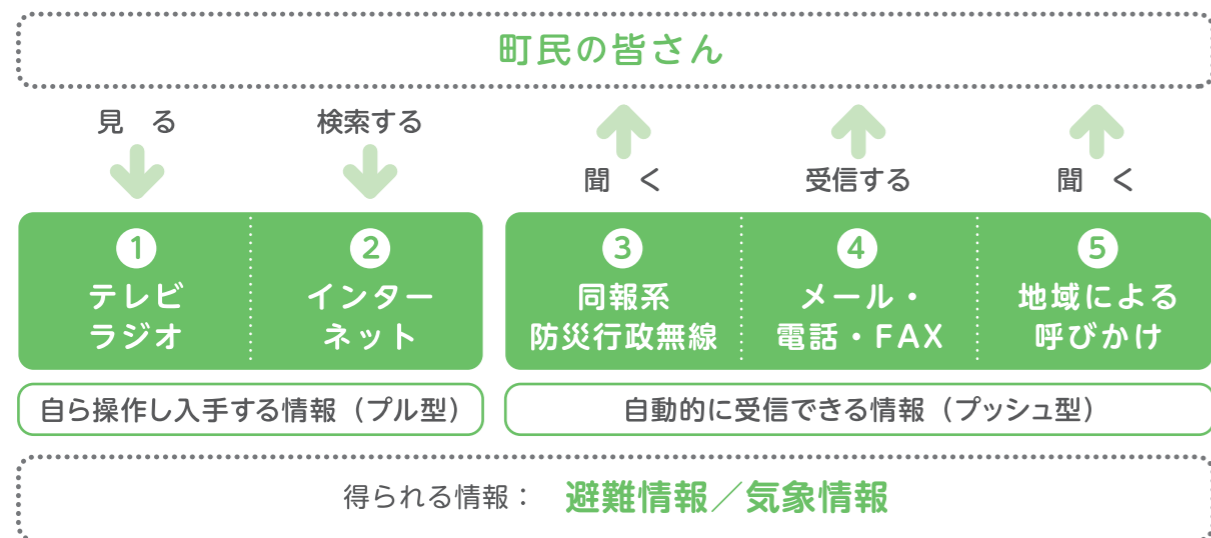


防災情報の入手方法

災害時に適切な避難行動をとるには、正確な情報の収集が何よりも欠かせません。しかし、災害時はどの伝達手段が被災して使用できなくなるかわかりません。複数の情報伝達手段があることを知り、いざというときに必要な情報を適切に収集できるようにしましょう。



① テレビ・ラジオで情報を入手する

d ボタンで確認できる情報

テレビリモコンの「**d ボタン**」（データ放送）を押すと、テレビ画面で気象情報や河川水位などを確認することができます。

ラジオでの情報入手方法

災害時にはNHKラジオなどでも情報を入手することができます。事前に周波数を登録するなどして備えておきましょう。



② インターネットで情報を入手する

大山崎町ホームページ

避難情報、避難所開設情報、同報系防災行政無線（屋外スピーカー）の放送内容、災害発生時における町の緊急対応策などを入手できます。

<https://www.town.oyamazaki.kyoto.jp/>



気象庁ホームページ

雨雲レーダーなどの各種気象情報を確認できます。

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>



京都府土砂災害警戒情報

地域の詳細な土砂災害危険度情報を確認できます。

<https://d-keikai.pref.kyoto.jp/>



国土交通省 川の防災情報

各河川のライブカメラ映像などを確認できます。

<https://www.river.go.jp/>



京都府河川防災情報

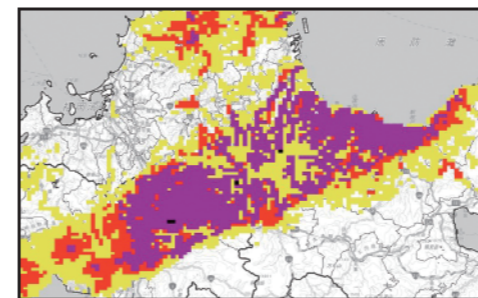
各河川の水位・雨量情報を確認できます。

<https://chisuibousai.pref.kyoto.jp/>



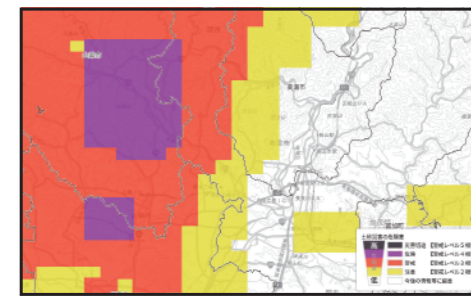
気象庁「キキクル（危険度分布）」を活用する

気象庁では、警報や注意報が発表された際に、予想される危険箇所を一目で認識できる「キキクル（危険度分布）」を提供しています。



大雨キキクル

氾濫の危険度と浸水の危険度を重ね合わせたものです。氾濫と浸水それぞれの危険度についても切り替えて表示することができます。



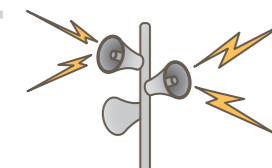
土砂キキクル

大雨による土砂災害の危険度を示したものです。現状の危険度が低い場合でも、周辺の危険度が高まっている場合は災害に備えましょう。

大雨キキクルは、令和8年5月下旬に運用開始予定です。
出典：気象庁

③ 同報系防災行政無線を聞く

屋外スピーカーや、公共施設館内放送などによって緊急情報を伝達します。放送内容は大山崎町防災・防犯情報メールや、町ホームページなどでも配信します。



④ メール・電話・FAXで受信する

大山崎町防災・防犯情報メール

事前登録すると、大山崎町に関する緊急情報、防災行政無線の放送内容などを受信できます。

登録にはQRコードで読み込んだアドレスに空メールを送信し、送られてきたURLに必要な情報を入力します。登録用メールが届かない場合などは危機管理係へご相談ください。
bousai.oyamazaki-town@raidai.ktaiwork.jp



登録必要

京都府防災・防犯情報メール

京都府が配信する緊急情報などを受信することができます。

登録にはQRコードで読み込んだアドレスに空メールを送信する必要があります。
anzen@k-anshin.pref.kyoto.jp



登録必要

電話・FAXで受信する

「大山崎町防災・防犯情報メール」と同じ内容が電話かFAXで受信できます。

メールが利用できない方を対象とした事業です。詳しくは危機管理係へご相談ください。

登録必要

緊急速報（エリア）メール

携帯会社各社の協力により、地域内の携帯電話基地局から強制的にメールを配信します。

町が発令する避難情報のほか、洪水に関する情報（氾濫危険水位以上の場合）が発信されます。

登録不要

⑤ 地域による呼びかけ

町では、避難情報の発令時などに、対象となる地域の自治会・自主防災組織の代表者の方へ電話連絡を行っています。自治会内の連絡網などに参加・協力し、確実に緊急情報を入手しましょう。